

令和3年10月12日

市政担当記者各位

第22回「花と緑のまちかど写真コンテスト」 受賞作品決定について

花や緑に関する写真の募集や展示会を通じて、都市緑化の普及啓発を図ることを目的とした「花と緑のまちかど写真コンテスト」受賞作品が決定いたしました。

審査にあたっては、専門家または学識経験者、協会及び福岡市の職員で構成する審査委員会で行い、令和3年8月19日の最終審査の結果、本年度の受賞作品が決定しました。

●「花と緑のまちかど写真コンテスト」について

- (1) 表彰対象
公園や街路樹などのまちかどの花や緑をテーマとした写真で、募集終了日から前1年以内に福岡市内で撮影した未発表のものとする。
- (2) 対象者及び作品数
応募者108名、応募作品総数230点
- (3) 審査
詳細は別紙のとおり
- (4) 受賞者及び総評
別紙のとおり
- (5) 発表方法等
受賞作品は、協会ホームページ等に掲載するとともに、展示会などにより発表する。また、受賞冊子、カレンダーの制作を行う。
- (6) 表彰式
日時 令和3年10月下旬（予定）

(問合せ先)

公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会 みどり課企画推進係 (担当 倉橋・小西)

TEL 092-822-5832 FAX 092-822-5848

電子メール mms@midorimachi.jp

●【第22回 花と緑のまちかど写真コンテスト】 受賞者及び受賞作品

■大賞・・・1点

賞	大賞
作品タイトル	サイクリング日和(撮影場所 海の中道海浜公園)
受賞者名	丸山 徳子
講評	真っ赤に染まったコキア群の中を自転車で楽しむ家族連れ。後方には青空の雲とふんわり浮かぶクジラのバルーンも。実に爽やかに仕上がった秀作です。風が右から左に吹いているように見える画面構成も抜群でした。ちなみに丸山さんは昨年も大賞を射止めた方で、審査後の一同から驚きの声が出ていました。

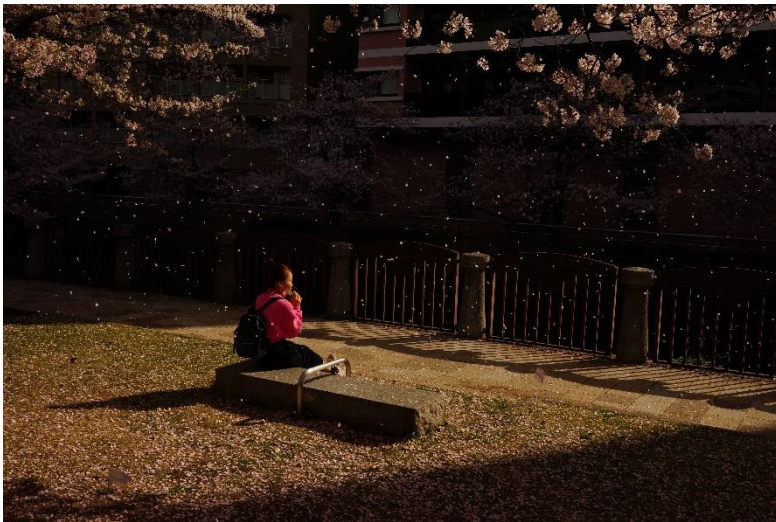


■特選・・・3点

賞	特選
作品タイトル	春景(撮影場所 舞鶴公園)
受賞者名	伊藤 蓉子
講評	画面上部を占める満開の八重桜のもと、スマホで撮影しながら楽しむ女性たち。傍らには老女の手を引きながら歩く男性も。作品から人生を物語るような、それぞれの人間模様が伝わってきます。



賞	特選
作品タイトル	朝光に舞う(撮影場所 天神中央公園)
受賞者名	高鷹春一
講評	舞い落ちる花びらの中、独りポツンと座っている女性。見る側に心を落ち着かせてくれるような作品になりました。斜光線を利用し、桜の明るいイメージから脱却した作者のセンスがうかがえます。



賞	特選
作品タイトル	静かな休日(撮影場所 福岡市植物園)
受賞者名	若松 安子
講評	市植物園のデザイン性を生かせるように俯瞰(ふかん)撮影。シャープなピントで、ゆがみも感じない構図もいいですね。傘を差しながら花壇の脇を歩く人で、同園の規模の一部も感じとれます。



別紙

● **総 評**

審査委員長 松下 則通

コロナ禍で迎えた第22回花と緑のまちかど写真コンテストの応募数は、前年より落ち込むのではと懸念していましたが、予想を大幅に上回る230点が集まりました。
今回も西日本写真協会役員や九州産業大学准教授、福岡市の関係者など計5人が審査に携わり、厳選しました。

● **審 査**

【審査日時】 令和2年8月19日（木）

【審査委員】

松下 則通 （西日本写真協会事務局長）
進藤 環 （九州産業大学芸術学部 写真・映像メディア学科 准教授）
福岡市住宅都市局花とみどりのまち推進部植物園長
福岡市住宅都市局花とみどりのまち推進部一人一花推進課長
公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会みどり課長